

2020年(令和2年)12月2日(水)

GW三島が優秀賞受賞

インフラ大賞 源兵衛川 再生で



グラウンドワーク三島などによる再生保全活動が
続く源兵衛川。三島市芝本町で

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)が第4回インフラメンテナンス大賞(事務局・国土交通省公共事業企画調整課)の「メンテナンスを支える活動部門」で優秀賞を受賞した。源兵衛川の再生保全が評価された。

インフラ大賞は、社会資本維持管理の優れた取り組みを表彰するもの。維持管理産業の活性化や理念の普及を目的に創設された。今年度は288件の応募があり、11月27日に35件の受賞が発表され

た。源兵衛川は約400年前に寺尾源兵衛らが湧水を水源に開削した約1・5キロの用水路。三島市街地中心部を流れ、1970年代はドブ川と化していたが、90年代から市や農業団体、GW三島などが地域ぐるみで再生保全活動を継続。清流をよみがえらせた。

GW三島の渡辺豊博専務理事は「農業者と都市住民とが地域総ぐるみで協力し合い、水の都・三島の宝物を築いた。方法が間違っておらず、先進性があったと評価されたことは光栄」と述べた。

【石川宏】